

事例2 さびしさから尿意を訴えていると思われた事例

事例と問題の把握

Bさん（86歳、女性）

要介護 2

主な疾患：認知症

排泄で困っていること

職員をみかける度に頻回に尿意を訴え、「おしっこしてもまだ出そうな感じがするんよ。本当につらいんよ。」などの訴えがみられる。トイレ誘導後5分もたたないうちに再び尿意を訴えることや、尿意の訴えに基づきトイレ誘導しても排尿がみられないこともあった。

スタッフは、Bさんがさびしがり屋であることから、尿意の訴えも「さびしさによるもの」と判断して対応していたが、あまりに頻回に尿意を訴えることからどのように対応してよいのかわからなかった。



排泄状態

日中は、パットとパンツタイプの紙オムツを使用し、夜間はテープタイプの紙オムツを使用。

尿失禁していることもあり、適時パットの交換も行っていた。

排泄動作

トイレへの移乗動作は、立ち上がり、立位保持の際に援助が必要。トイレでの座位は円背のため不安定であるが、数分は手すりをもって保持できる。

生活状況

日中は、車いすに座って食堂などで生活している。自らスタッフに声をかけて尿意を訴えることが多い。食事は自力摂取可。睡眠障害なし。

アセスメント

さびしさを紛らわすような方法はないか模索してみたが、はっきりした結論は得られず、客観的なデータの把握のため、まず排尿日誌をつけ、読み込んだ。1回排尿量は25～100ml、トイレ後の残尿は導尿にて測定したが、多い時でも25mlであった。1回排尿量は正常より少ないが、残尿は0～10mlで正常範囲である。また、1日尿量は約1000～2000mlで、1日の飲水量は約1000mlで、尿量は確保されている。

これらのことから、頻尿の原因は「さびしさによるもの」だけとは考えがたく、膀胱の老人性委縮などによって膀胱容量が少なくなり、尿が少し溜まっただけでも尿意を感じてしまう結果、頻回に尿意を訴えている可能性があると考えた。

計画

そこで、膀胱容量を増大させるような薬剤の処方を検討してもらうべく泌尿器科受診を決めた。

実施

検尿結果：赤血球1～2/1視野、白血球100以上/1視野、細菌+。
エコーによる残尿測定にて45mlと少量。エコーで腎形態は保たれている。

今までの経過と、今回の所見から、膀胱炎と診断された。まずは膀胱炎の治療を行ない、その後、尿沈渣の状態と、尿頻度で経過観察することとした。まず抗生物質が処方された。5日間の内服により、膀胱炎は完治し、頻尿は以前より改善していった。Bさんは「本当によかった」と涙を浮かべた。その後も「姉ちゃん来てや。」とスタッフを呼ぶことはあったが、関わりを持つと落ち着いた表情になり、頻回に呼び続けることはなくなった。頻尿に関する治療薬は結局内服しなかった。

振り返り

最初は頻回な尿意の訴えを「さびしい」からと判断していた。発熱、排尿痛などの訴えはなかったため、頻回な尿意の訴えは、尿路感染症によるものよりも、スタッフに関わってもらいたいからと、当初は考えていた。しかし結果としては、膀胱炎による症状の影響が大きかった。

排尿日誌による客観的な排尿状態の把握の上で、膀胱容量が低下している可能性を最も考えた。介護側の対応よりも、膀胱容量を上げることの可能性を求めて泌尿器科をコンサルトした。その結果、膀胱炎が存在することがわかり、抗生剤治療による、尿の正常化のみで、頻尿の訴えは軽減した。客観的評価を取り入れ、排尿状態の把握、アセスメント、そして、必要に応じて泌尿器科受診を検討する必要性を感じた。

尿路感染症

高齢者の膀胱炎では、膀胱炎の主な症状である排尿痛、発熱などが見られない場合が多くあり、オムツに膿性分泌物があるのに排尿時の痛みのないものもよく見られます。

今回の事例でも、排尿痛はなく、頻尿のみでした。一般の細菌性膀胱炎は、臨牀症状と、検尿沈渣から診断は比較的容易です。明らかな症状が認められない場合は、尿の検査が重要になってきます。**頻尿、尿もれや、オムツへの分泌物などが多い場合は、膀胱炎も疑って尿の性状を観察したり、尿検査を試みたりすることが重要です。**

尿路感染症は、呼吸器感染症について頻度の高い感染症です。高齢者では発熱時にはこの二つを常に念頭において観察する必要があります。原因菌としては、大腸菌が多く、グラム陰性桿菌によるものが80%を占めます。女性の頻度が高くなっており、これは解剖学的に、女性は外尿道口が奥まっており膣にも近いことから汚染を受けやすいことも影響しています。ですから、陰部の清潔も重要なファクターとなります。男性でも包茎などでも外尿道口が汚染されやすいケースもありますので注意が必要です。

高齢者では潜在的な膀胱の機能低下もあり（男性で最も多い基礎疾患は前立腺肥大症ですが）、若年者より発生頻度は高くなっています。

尿路感染症は、基礎疾患の有無で、単純性と複雑性に大別されます。

- ・単純性尿路感染症・・・基礎疾患の特にないもので、こちらは一般的に5-7日程度の抗生剤投与で寛解します。
- ・複雑性尿路感染症・・・基礎疾患を有するもの（腎結石、水腎症、膀胱癌、膀胱結石、前立腺肥大症、神経因性膀胱、長期尿道カテーテル留置など）で、基礎疾患に対するアプローチも重要になります。

診断・治療に必要なもの

臨床症状・・排尿痛・頻尿・残尿感・発熱など

尿検査・・尿沈渣の中の白血球（強拡大で1視野5個以上）が重要

血液検査・・白血球増多、CRP（これらの上昇は腎盂腎炎を示唆します）

尿細菌培養・薬剤感受性試験・・原因菌の同定は、再発防止にも重要ですし、感受性試験は薬剤耐性化を防ぐ意味でも重要です。

基礎疾患の検索・・レントゲン・エコー・CT など

高齢者では潜在的な膀胱の機能低下もあると述べました。十分な尿排出ができず、残尿が多いために、少し尿が貯留するとまた尿意を感じてそのために頻尿になるというパターンです。そういったタイプの方に、頻尿があるからといって、頻尿治療薬（P.21 参照）を漫然と投与することは、逆効果です。さらに残尿量を増やすことでますます頻尿を増悪させますし、尿路感染を助長する可能性も大です。最近、多くの頻尿治療薬が出てきて、使用頻度が増えていますが、**まずは尿路感染症や基礎疾患、とくに尿検査と残尿に関するスクリーニングは重要です。**

事例フォーマット

氏名: B	性別: 女	年齢: 86	体重:
主な病名及び既往歴: 認知症			
服薬中の薬: シンラク 7.5g 1日 重カマ 0.5g 毎日			
排泄状況	日中: 8°, 12°, 16°に定時誘導を行うが、その間も頻回に尿意を訴えるが、おむつに失禁していたり、排尿かみかけたりする。 夜間: 18°, 24°, 40°にオムツ交換している。		
排泄で困っていること(本人・家族・スタッフ別に書く) 職員をみかけると、頻回に尿意を訴える。5分ももたないこともあり、尿意に応じて誘導しても、排尿かみかけたりすることがある。			
ADLの状態	コミュニケーション	認知症の有無と症状	
B-II	つじつまのあわないことを言うこともあるが、意思疎通可	あり	
尿意の訴え	頻回に訴える。		
便意の訴え	なし		
トイレの認識ができるか	できる。 自分で行くことは、できない		
移動の状態	車イスの駆動は介助が必要。 便器への移乗は部分介助		
衣服の着脱の状態	手すりももたない立位保持できないので、全面介助		
便器の準備の状態	洋式トイレ		
排尿状態	ほぼ、オムツに失禁しているが、尿意を頻回に訴えて、トイレに行く回数も多いため、たまに失禁していないこともある。		
排便状態	ほぼ、毎日、泥状便の便失禁がみられる。		
後始末の状態	全介助		

排尿日誌

前

平成17年 8月 21日()

後

平成17年 9月 15日()

時間	尿 ml 便 g (失禁)	尿意 便意	水分量	その他 (機嫌 気づき 性状等)
記入例	尿120ml +失禁30ml 便50g	尿○ 便×	茶100cc	便+ オムツはずそうと していた
0:00				
1:00				
2:00				
3:00				
4:00	失禁 (+)	オムツ交換		
5:00				
6:00				
7:00				
8:00	尿 0ml 糞(450ml)	○		定時排便
9:00	尿 0ml(80)	○		
10:00				
11:00	尿 80ml (+)	○		
12:00				
13:00	尿 100ml (+)	○		定時排便 残尿 15ml
14:00	尿 少量 (-)	○		
15:00	尿 60ml (+) 0ml (-)	○ ○		
16:00	尿 150ml (+)	○		定時排便 残尿 0ml
17:00				
18:00		○		
19:00				
20:00				
21:00				
22:00				
23:00	糞 (+) ≥50ml	オムツ交換		

時間	尿 ml 便 g (失禁)	尿意 便意	水分量	その他 (機嫌 気づき 性状等)
記入例	尿120ml +失禁30ml 便50g	尿○ 便×	茶100cc	便+ オムツはずそうと していた
0:00				
1:00				
2:00				
3:00				
4:00	失禁 (+)	オムツ交換		
5:00				
6:00				
7:00				
8:00	尿 100ml (300ml)	○		定時排便
9:00	尿 < 150ml (-)	○		
10:00				
11:00				
12:00	尿 200ml (+)	○		定時排便
13:00				
14:00	尿 100ml (-)	○		
15:00				
16:00	尿 150ml (+)	○		定時排便
17:00				
18:00		○		
19:00				
20:00				
21:00				
22:00				
23:00	糞 (+)	オムツ交換		